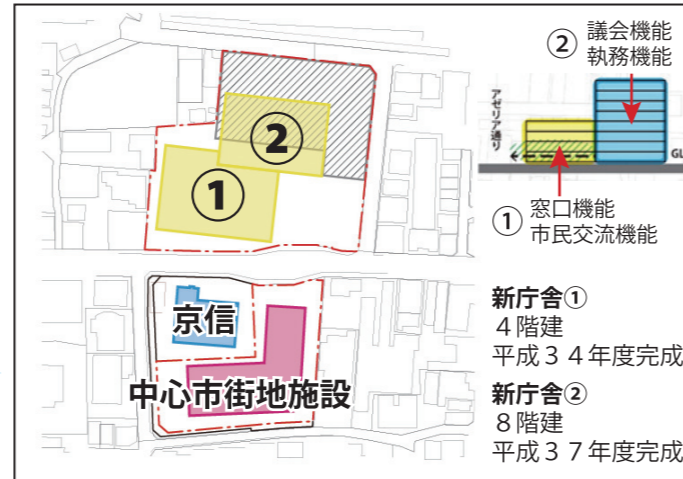
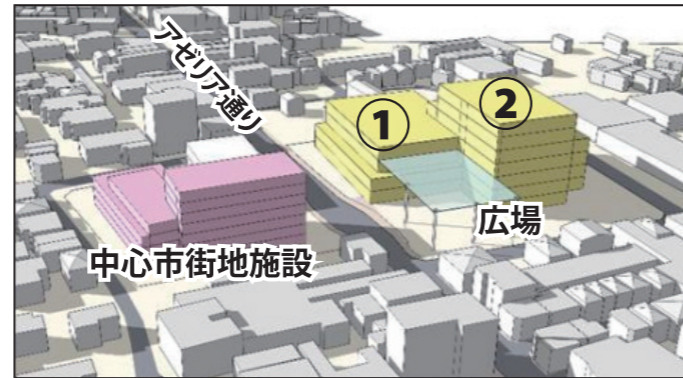


# 市役所庁舎建替え

市役所庁舎建替えについて、①設備の老朽化②庁舎の分散化③市民対応スペースの不足④災害対策⑤社会状況への対応、が喫緊の課題であり、すぐにでも対応しなければならない状況です。現在、『長岡京市庁舎等再整備基本構想(案)』において市庁舎配置案A B C Dの4つが提案されています。一般質問において、市長としては、①施設の耐震性の確保や老朽化への対応、バリアフリーの実現等、早期の実現が可能②経費のできる限りの削減③中心市街地の賑わい創出の拠点になるよう、アゼリア通りに面したパブリックスペースの確保、などを総合的に勘案した場合B案がベターな案であるとの答弁でした。私も、スピード感を持ち、できる限りの経費削減を行い、今後の利活用も含めた事を条件として考えれば、B案が最も優れている案であると思いますが、今後起こり得る公共施設の集約等を考えると、できる限り柔軟性の高い案でなければならないと思います。また、構想案ができるまでは産業文化会館は中心市街地施設へ入る予定でしたが、今回の構想案では新庁舎の中に複合するものとなっています。そのため、中心市街地施設用地は全て民間に賃貸する計画になっています。これは中心市街地施設において収益を確保し、今後の財政負担を少しでも軽くするためです。収益の確保は必要であり、公有地の利活用は必要不可欠なものであることは間違いありませんが、しかし、この用地を全て民間に賃貸で出すというのは、疑問が残ります。この市庁舎建替えは、今まで40年以上動かなかった中心市街地再整備の第一歩となる事業です。スピード感はもちろん大事ですが、次の一歩につながりやすいように踏み出すことが今回一番重要なはずです。天神通りの拡幅工事が進まない理由が『代替用地の確保が困難』である以上、この用地も代替用地として活用した方が、中心市街地再整備がより早く動くかもしれません。更地のまま置いておくのは不経済であるとは思いますが、市役所建替えだけを考えるのではなく、次の一歩も考えた上での計画が必要ではないでしょうか。

B案の配置計画



- 【新庁舎】**  
理由：①老朽化②分散化③市民スペース不足  
④災害対策⑤社会状況への対応
- ↓  
検討：スピード感・経費の削減・柔軟性等
- ↓  
結果：B案がもっともベターな案
- 【中心市街地施設】**  
検討：一定期間安定した収入の確保
- ↓  
結果：民間企業に定期借地で全て貸し出す

**しかし** 次の一歩を考えた計画か疑問が残る

**【発行者】 ディスカッション!長岡京!!**  
住 所:長岡京市花山1丁目54番地  
連絡先:070-5503-0011 Mail:tommytatsu@gmail.com

**【代 表】 富田達也**  
京都学園幼稚園・長五小学校・長四中学校・向陽高校を卒業。龍谷大学法学部を卒業後、司法書士事務にて正社員で営業職として勤務する。政治家一本を目指すために退職し、2013年に初当選。現在最年少長岡京市議。建設水道常任委員。都市計画審議会委員。関西若手議員の会・副事務局長。

# 全力青年 ディスカッション DISCUSSION NO.12

長岡京市の予算 一般質問から  
市のお金はどのように使われている? 風情のある街並みへ

不足する保育所  
まだまだ足りない待機児童対策

中心市街地再整備の第一歩  
市役所庁舎建替えはどうなるのか?

代表  
将来の世代にツケを回さない政治を!  
最年少長岡京市議会議員

**富田達也**



完全無所属

## 「政治」を気軽に話せる場

### 市庁舎建替検討会

**5/13** 土曜日 19時半~

場所：バンビオ4階 学習室1  
定員：30名程(先着順)  
費用：無料  
内容：市庁舎建替えについてグループディスカッションを行い、その意見を議会に持ち帰ります。

### せいじバー

**5/17** 水曜日 20時~

場所：鉄板バル・レイファーム  
定員：15名程(先着順)  
費用：3,000円  
内容：政治を肴に楽しく飲む場です。議員と気軽に話せる場づくりとして開催しています。

**お問い合わせは左記まで。お気軽にご参加下さい!**

# 長岡京市の予算(重点政策)

## 子育て政策に重点を置いた予算

### 主な新規・拡充事業

- ・私立幼稚園就園促進補助金
- ・子育て支援アプリの運用
- ・保育所施設の増築・改築
- ・小規模保育施設の拡充(3→5か所)
- ・中学校給食導入の推進
- ・英語技能検定試験の実施(中三)
- ・長十小学校・放課後児童クラブの民間委託
- ・小中学校図書の実施
- ・介護予防ボランティア資格制度の創設
- ・介護予防サロンの実施
- ・空き家対策の推進
- ・観光振興事業
- ・街頭防犯カメラ設置に向けた調査
- ・市庁舎建替え事業の推進
- ・JR長岡京駅 駅前広場の整備検討(東口)

【扶助費】※児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して行う支援に要する経費の事。

約70億円(約4億円増)  
→ 10年間で約2倍に増加!

【地方債】  
約304億円(約16億円増)  
→ 10年間で約70億円も増加!

今後の少子超高齢社会を乗り越えるためにも、本市財産の有効活用等による歳入の確保や、歳出を取捨選択し、事業の重点化や効率化を図り、将来の世代にツケを回さない取り組みを続けていかなければなりません。取捨選択により、過去から続けてきた事業を継続できなくなる事も考えられます。将来の世代に責任をもってこの豊かな長岡京市を渡すためにも、事業効果の低いと考えられるものについては厳しい対応をしていかなければなりません。

取捨選択で継続できなくなる事業もあるけど  
将来の世代に豊かな長岡京市を渡せる!

平成29年度予算は総額約270億円で、投資的経費が約25%増の約23億となり積極的な予算編成と言えます。また、第4次総合計画の2年目にあたり、『15年後の新たな長岡京市に向け、力づくよく踏み出す年であり、未来に向けた投資を積極的に行っていく予算』として編成されました。しかし、市税収入は対前年度比で約5億円もの減少を予測しており、臨時財政対策債(国が交付金として将来返してくれるとされている借金)も見込額として約140億円に迫る状況です。日本経済は緩やかに持ち直しているものの、今後も予断を許さない状況であることに変わりはない以上、経済状況に左右されやすい歳入(法人市民税)に注力するのではなく、地道な、そして、多種多様な歳入の確保に取り組んでいく必要があります。その点において、シティプロモーションは今後の長岡京市の予算獲得に重要なものであり、そのあり方をしっかりと考えていかなければなりません。シティプロモーションは行政のみでできるものではなく、市民のシビックプライドの醸成が必要不可欠であり、そのためには市民を巻き込んだ取り組みが必要です。訴求力のある取り組みが必要であると共に、イベントのような市民がお客様であるものだけではシビックプライドは決して醸成されません。長岡京市のファンを作る取り組みを、市民と共に地道に時間をかけて取り組んでいくことがシティプロモーションの一番の近道であり、一方的な広報やイベントに終始することだけはあってはならないと思います。市役所や寺社のライトアップやラッピングバスの導入等、いろいろな広報を打ち出していますが、その効果検証をデータに基づいて行わなければ、結果としてやった方がいいがムダ金に終わったという事になりかねません。しっかりと市民にリターンされる事業になるよう、これからも議会で検証を進めていきたいと思います。

市が行う事業の意味は何か?

市民にしっかりと還元されるもの!

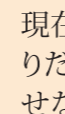
還元されているか  
効果検証をデータに基づいて行おう!

# 一般質問(風情のある街並みへ)



富田

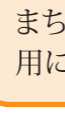
日本は、どの駅に降りても同じような風景や街並みが広がっており、街並み自体を楽しめるまちは少ない。それは日本の街並みがデザインの統一をこななかったから。現在見直している景観計画について、地区毎のデザインコンセプトを定め、地区の街並みという魅力を創出していくべきだと思うが、どうか?



富田

現在の景観計画は「長岡京らしさを大切にしながら、豊かな魅力あふれる景観を創り出す」こととしているが市域一律の景観基準であるため、地域の特性を十分生かせない。次の景観計画では4つの区域(①小畑川②西国街道③文化センター通り④天神通り)に区分し、面的な景観形成を行い、魅力ある景観を創出していきたい。

地域住民が、住んでいる地域のデザインを考え魅力を創出することがその地域の魅力創出になり、延いては長岡京市全体の魅力アップにもつながる。地域住民の自主的な修景を図るためにも、デザインコンセプトの策定やデザインの落とし込みを行う際の費用について補助制度を創設し、地域住民の自主的な修景を奨励していくべきでは?



富田

まちづくり協議会の制度を活用し、地域の景観形成の活動を進め、それらの活動費用について助成金を交付すること等、積極的に協議していきたい。



長岡京市



長岡京市

## まだまだ足りていない待機児童対策

### 市の本気度

	H24	H29	増減数
就学前児童数	4,452	4,342	-110
受入れ児童数	1,265	1,602	+337

### 【待機児童数】

H28→78人 H29→92人

待機児童問題は解決するどころか、平成29年度当初予定で92人と、平成28年度当初よりも14人増加しています。平成29年度では約60人の受け入れ人数の増加があり、また、5年前と比べると約340人も受け入れ人数は増えています。しかし、賃金がなかなか増えない事や家庭環境の変化等により、共働きする家庭が増え、「食べていくために」子どもを保育所に入れなくてはならない家庭が増えてい

るのが現状です。子育て世代における家計の厳しさをまずは理解しなければなりません。待機児童対策については、本市の子育て・子育てに関する本気度が試されているものだと思います。そのような中で92名もの待機児童が発生している現状は、『子育て世代の獲得』を目指している本市として、恥ずべき状況であると思います。後追いの待機児童対策ではなく、今後は計画性をもった取り組みをしていかなければなりません。また、現在待機をして頂いている家庭、及び、認可保育所に入りたかったのに入れず認可外保育所に入所した家庭に対して、保育料差額の補てん等、しっかりとアフターフォローをしていくべきです。

子育て支援の予算はまだまだ少ない!

子育て支援は将来への投資!

※投資額の2倍以上回収できる研究もある  
将来の長岡京市が良くなる第一歩になる!